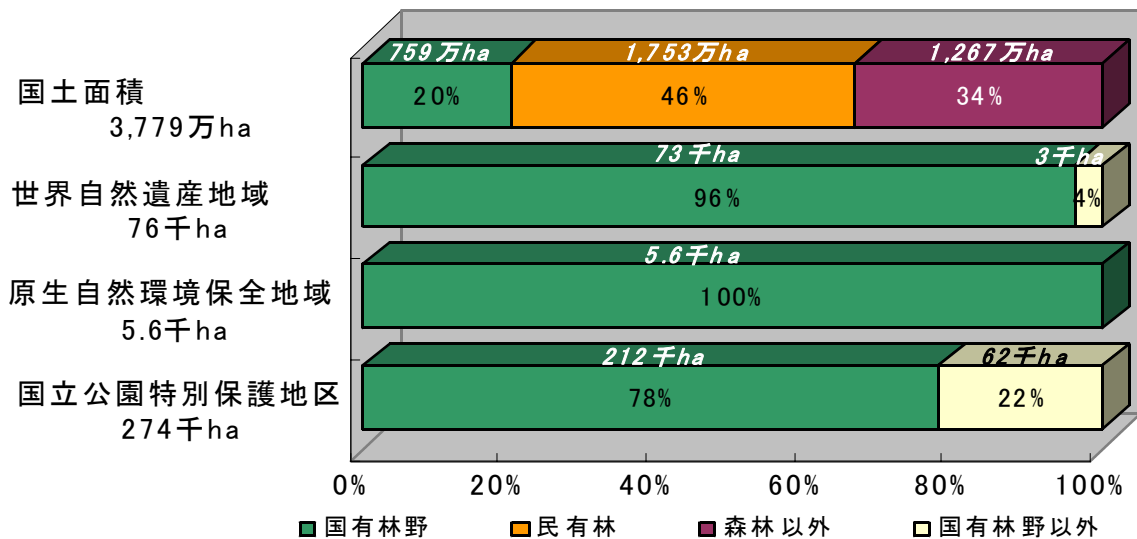


第V章 「国民の森林」としての国有林野の取組

1 国有林野に期待される役割

- 我が国の森林面積の3割を占める国有林野は、奥地脊梁山地や水源地域に広く分布し、国土の保全や水源のかん養等に大きな役割を果たす国民共通の財産。
- また、知床（陸域）、白神山地、屋久島といった世界自然遺産登録地域をはじめ、原始的な天然生林を多く有しており、貴重な野生動植物の生育・生息地としても重要。
- 「国有林野の管理経営に関する基本計画」により管理経営の基本方針を明らかにし、公益的機能の維持・増進を旨とした管理経営を推進するとともに、地球温暖化の防止等への率先した取組や国民参加の森林づくり等を推進。

重要な自然環境に占める国有林野の割合



〈事例〉 針広混交林化の取組

筑波山中腹に位置する茨城森林管理署横道国有林では、樹齢100年を超えるヒノキ人工林において、天然力を活用した広葉樹の導入による針広混交林化に取り組んでいる。

これにより、現地では、上層のヒノキの下にはホオノキ、オオモミジ等の高木性樹種やヒサカキ、クロモジ等の低木性樹種等多くの広葉樹が発生し、順調に生育している。



2 「国民の森林」を実現するための管理経営

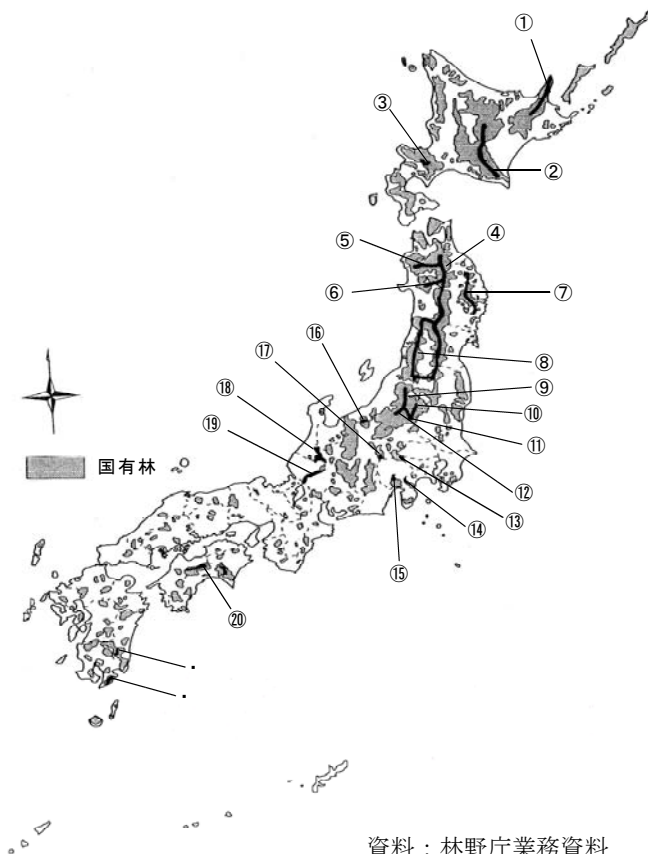
- 国民の安全で安心できる生活を確保するために、治山施設の設置や災害地の緊急な復旧等計画的な治山事業を推進。
- 国有林野を適切に管理するため、平成18年よりグリーン・サポート・スタッフ（森林保護員）の巡視等による森林生態系の保全管理を推進。
- 貴重な森林を保護するため、自然の推移に委ねた管理等を行う保護林を設定。また、野生生物の個体群の交流を促進するため、保護林相互を連結してネットワークを形成する「緑の回廊」の整備を推進。

〈事例〉 グリーン・サポート・スタッフによる活動

百名山の一つとして、毎年多くの利用者が訪れる中部森林管理局東信森林管理署の北八ヶ岳自然休養林において、スタッフが区域内的の巡視活動を行い、利用者に対する国有林の適正な利用の喚起や森林保全の重要性に対する理解の醸成に努めている。



緑の回廊位置図



(平成18年4月1日現在)

名 称	面積 (千ha)	延長 (km)
① 知床半島緑の回廊	12	36
② 大雪・日高緑の回廊	19	83
③ 支笏・無意根緑の回廊	7	30
④ 奥羽山脈緑の回廊	79	400
⑤ 白神八甲田緑の回廊	22	50
⑥ 八幡平太平山緑の回廊	11	60
⑦ 北上高地緑の回廊	27	150
⑧ 鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊	64	260
⑨ 緑の回廊越後線	27	70
⑩ 日光・那須塩原緑の回廊	18	75
⑪ 緑の回廊日光線	13	38
⑫ 緑の回廊三国線	13	52
⑬ 秩父山地緑の回廊	6	44
⑭ 丹沢緑の回廊	4	43
⑮ 富士山緑の回廊	2	24
⑯ 緑の回廊雨飾・戸隠	4	17
⑰ 緑の回廊八ヶ岳	6	21
⑱ 白山山系緑の回廊	43	70
⑲ 越美山地緑の回廊	24	66
⑳ 四国山地緑の回廊	18	128
・ 綾川上流緑の回廊	2	5
・ 大隅半島緑の回廊	1	22
合計	22か所	1744

資料：林野庁業務資料

- 「地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策」等を踏まえ、間伐等による森林の整備・保全や森林土木工事等における木材利用等を通じ、地球温暖化防止対策を推進。
- ボランティア団体・企業等が森林づくりを行う「ふれあいの森」や「法人の森林」の設定のほか、学校等にフィールドを提供する「遊々の森」の設定など、国民参加の森林づくりを推進。
- 民有林と連携した木材の安定供給の取組や、低コストで高効率な作業システムの構築・普及を推進。
- 歴史的木造建造物等を次世代に引き継ぐため、「木の文化を支える森づくり」に取り組んでいるほか、天然秋田スギ等、民有林からの供給が期待しにくい木材を持続的・計画的に供給。

〈事例〉 NPOと連携した台風被害地の復旧

北海道森林管理局渡島森林管理署は、平成18年度から、学校、企業、NPOの5団体とともに、平成16年の台風第18号で甚大な被害を受けたカリマ国有林の復旧作業を行っている。被害地の復旧に主体的に関わることで地元国有林への愛着を育むこと等を目的とし、団体は苗木購入、植栽樹種の選定及び下草刈りに至る一連の保育作業を実施している。森林管理署は、現地指導や学校での事前講義等の支援を行っている。



〈事例〉 国有林ならではの木材供給

長野市の善光寺では、国の重要文化財である「三門」の解体修理のための工事が行われている。現在の「三門」の屋根は、「檜皮葺」（ヒノキの樹皮を用いた屋根ふき）となっているが、今回の工事においては、建立当時の「榎葺」（サワラの板を用いた屋根ふき）に復元することとなった。復元に必要なまとまった量の天然サワラは、民有林からの供給が期待できないとの善光寺からの要請を受け、中部森林管理局が、管内の国有林から2年間、復元工事にあわせて計画的に供給した。



資料：財団法人 文化財建造物保存技術協会